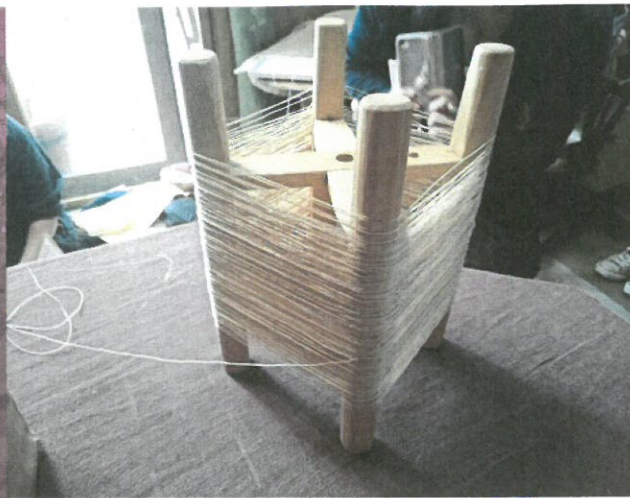


麻 Hemp

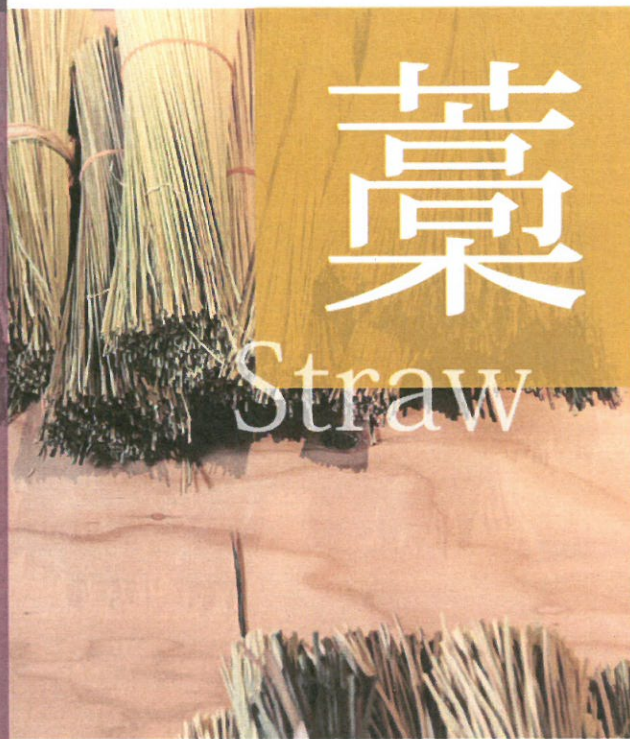
績^うむ



「里山^のてしごと展」

9月14日～11月30日
(最終日は15:00まで)
入場無料

絢^なう



藁 Straw

藍 Indigo

建^たてる



会場：みやぎ蔵王こけし館
宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字新地西裏山 36-135
Tel: 0224-34-2385

「里山^のてしごと展」



麻を績(う)み、

かつて、古来の日本では麻・藁・藍は、どの地でも定着し、服や、生活の道具、そして生活の彩へと変化していきました。近代化の波



藁を絢(な)い、

によって、それらは工業化が推し進められ、いずれの材料も日本国内で簡単に手にすることが難しくなってきました。近年、ファストファッションが栄華を極める中、もう一度、大自然の循環の中に回帰しようという動きが見直されています。それは私たちの住む「里山の身の回りにあるもの」で創り上げること。ここ、東北の地にそれらを実践し、生業として



藍を建(た)てる。

いる職人たちがいます。「里山のてしごと展」では、そうした大自然の中から生まれたスローでサステイナブルな作品の数々を展示致します。是非、手にとって頂き作品の素晴らしさのみならず、生み出された過程、ものがたりなども感じて頂ければと思います。

麻・藁・藍 合同ワークショップ開催日程
10月9日(月・祝) 11月4日(土)

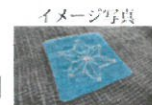
会場 みやぎ蔵王こけし館
受付 10:00～15:00(最終受付)

その他、ワークショップ(WS)日程

9月23日(土)

【麻糸刺子/組紐プレスレットWS】

伝え手：山本京子/佐々木真紀(麻糸織み技能者『よりひめ』)
参加料：¥2,000



10月08日(日)

【糸車体験 大麻手績み/背守り邪気よけの刺繍WS】

伝え手：岩瀬希望/こうのさちこ ※邪気よけの刺繍WSご参加希望の方は縫いたい服をご持参下さい。



開催期間中に追加となる場合もありますので、こけし館までお問合せ下さい。



●麻作品・・・倭文の会【福島県】

日本古来の大麻手績み糸・精麻使用の作品の展示・販売材料となる精麻は無毒大麻のトチギシロの靱皮を発酵させたもの。糸の績み方は福島県の雪国で、大麻博物館の高安館長がおばあちゃんから習得した掌の中の技術を教えてもらった手仕事です。糸績みの姿は、昔は当たり前の中にもありました。

連絡先 奥野昌美(美麻和*みゅまな) 090-2791-3546

●藁作品・・・高橋伸一【山形県】

「工房ストロー」主宰。1975年、山形県真室川町の農家の5代目として生まれる。豊かな自然を遊び場に、動植物も遊び仲間という環境で育つ。高校卒業後、地元の町役場に就職。「ないものねだりから、あるもの探しへ」という地元学の考え方に触発され、藁細工などの手仕事、伝承野菜、伝統行事など、町のユニークな「宝」の存在に気づき始める。後継者不在により断絶の危機に瀕しているそうした地域の「宝」の継承こそ自分の使命とところに決め、2016年3月に町役場を退職し、工房ストローを立ち上げる。藁細工の素晴らしさや楽しさ、地域ならではの「宝」を多方面に情報発信し、その継承と発展をめざし、日々活動中。

「工房ストロー」URL: <http://kobo-straw.com/>



●藍作品・・・八巻眞由【宮城県】

1992年岡山県生まれ。20年前に家族で宮城県丸森町に移住し「自然に負荷をかけない仕事を」との思いから両親が藍染工房を立ち上げる。丸森町役場勤務、地域づくり会社を経て、2016年に家業の藍染工房から新たにブランド「伽藍(がらん)」を立ち上げる。現在は父と共に藍染作品の制作や、新しいターゲットに向けた商品開発、丸森町の地域資源や伝統技術を生かしたコラボ商品企画などを行なっている。

<お問合せ>

みやぎ蔵王こけし館
TEL 0224-34-2385

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字新地西裏山 36-135

<開館時間>

9:00～17:00
(最終入館時間 16:30)

